

昭和十四年三月一日(木曜日)午後三時四十
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事長野 高一君 理事岡田喜久治君

理事會和 義氏君

多田 滿長君 佐藤 與一君

長野 長廣君 庄司 一郎君

田子 一民君 河上 哲太君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將

文部大臣 男爵荒木 貞夫君
文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省社會教育局長 田中 重之君
文部省圖書局長 近藤 壽治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス——田子君

○田子委員 大臣ハ最モ御多忙デ御疲勞ノ

場合、長イコトハ申シマセヌガ、此ノ際數點御質問ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、第一ハ青年學校ト青年團トノ關係ニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、大臣ニハ御就前カラ青年教育ニ非常ニ御熱心デアリマシテ、又青年團ノ記念日等ニ於ケル御講演ナドヲ拜聽致シテ居リマスト、有ユル方面ヲ能ク御諒解ニナツテ居ルト思フノデアリマス、併シ日本ノ内閣制度ト申シマスカ、ドウモ大臣ハ屢々更迭ナサレマスノデ、ドウモ一貫シタ青年指導、教育、鍛錬、斯ウ云フコトニ付テノ文部省ノ方針、或ハ國家ノ方針ガ確立シテ居ラヌカニ吾々ハ始終憂ヲ懷イテ居ルノデアリマス、最モ青年指導、教育、鍛錬ニ御諒解ノ深イ荒木現文部大臣ノ時ニ於キマシテ、此ノ青年指導、

決メ置キヲ戴ケバ、將來如何ナル大臣ガ文部省ニオ出デ下サイマシテモ、ソレヲ基準トシテ、大キナ勵キナシニ進メ得ルノデハナイカ、斯ウ云フコトカラ、私ハ實ハ此處ニ委員ニナツテ居リマシテモ、同僚ノ諸君カラ御質問ヲ願ツテ、私ハ最後ニ一言二言申シテ置クニ止ヌタイト思ヒマシタケレドモ、少し自分トシテモ此ノ際申上ゲテ置イタ方ガ宜イト云フヤウナ感ジヲ持チマシタハ上級ノ學校ニ進ンデ行クノデアリマス、カラ、甚ダ御疲勞ノ所御迷惑デアリマセウケレドモ、暫ク御許シヲ得タイト思フノデアリマス、私ハ日本ト云フ國ハ皇室ヲ戴キ、就學ノ「チャシス」ヲ失ツテ居リマス、中ニハ社会制度ニハ家族制度ガ確立致シテ居リマシテ、此ノ點ハ各國ニ優レタ、非常ニ良い、有難イ點ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、併シ家族制度ト云フモノニ依ツテ發達シタ國ト云フモノハ、資本主義ノ發達デアリマスト云フモノハ、資本主義ノ發達デアリマストカ、或ハ經濟事情ノ變化ニ依リマシテ家族ガ崩壊シテ來マスト、崩壊セラレタ家族、家庭ノ者ハ最モ悲慘テ境遇ニ置カレルモノデアリマス、外國ハ個人主義ノ國デアリマシテ、個人ノ力ト云フモノヨリハ、社會ノ力ト云フモノデ、教育ナリ、社會教化ナリ、有ユルモノガ能ク行ハレテ居ルト思ヒマスガ、日本ハ家族制度ヲ中心ニシテ發達シタ族制度ガ崩壊シツツアル今日ニ於キマシテト、日本ト云フ國ハ家族制度ニ依頼シテ、家

族制度ガ崩壊シテ居ラヌコトハ、實ニ吾々ニモ浴シ難イ者ガ澤山出テ來ル狀態デアリマス、此ノ點ハ非常ニ日本トシテハ考ヘナケレバナラヌコトダト思ヒマス、一例ヲ青年ニ收容シテ、萬遍ナク國ノ恩澤ガ及ブト云フヤウニ相成ツテ居ラヌコトハ、實ニ吾々シテ日本ト比較シテ見マスト、皇室ヲ戴イ相當な體力ヲ持チ、能力ヲ持チ、而モ學資

コトニハ非常ニ感激感謝ヲ致シマスガ、一タビ學校ノ教育制度等ニ至リマスト、ドウモ遺憾ノ點ガ非常ニ多イノデアリマス、恐ラク荒木文部大臣ハ今回此ノ青年教育ノ爲ニ青年學校ノ義務制ヲ斷行サレテ、其ノ第一年目ヲ大臣ノ手ニ依ツテナサレルト云フコトハ、大臣トシテモ欣快ナコトデアリマセウシ、吾々國民トシテモ感謝致ス次第デアリマス、併シ私ハ義務制度ニナツタカラ感謝スルト云フノデハナノデアリマス、

義務制度ノ效果ガ完全ニ舉リ得ルト云フ有ニル國ノ人力、縣ノ人力、市町村ノ人力、若クハ社會各般ノ人力ガ整ツテ、サウシテ完備シタ教育制度ガ實現シテ、其ノ恩惠ヲ青年達ガ受クルコトガ出來ル、ダラウト云フ期待ヲ以テ喜ブノデアリマス、又感謝モスルノ論文ナドヲ見マスト、義務制度ガ愈々青年学校ノ上ニ行ハレルナラバ、青年團ト云フモノハ先づ行詰リデアル、是カラ大シ夕期待ヲ之ニ掛ケルコトハナイト云フヤウナ論モ所々ニ聞クノデアリマス、是ハ日本ノ青年團ト云フモノガ沿革的デアリ、傳統的デアリ、歷史的デアルコトノ御承知ノナイ御方ノ議論デアリマスケレドモ、又文部省ノ組織ノ上カラ見テモ、私ハ何ダカソコニ力弱ノデアリマス、若シソレガ政府ノ力ニモ缺クル所ガアル、又雇主等ニ無理解ガ多カツタト云フコトデアリマシタナラバ、私達ノ喜ビハ一時ノ喜ビデアリ、一時ノ感謝デアツテ、國家永遠ニハ大キナ憾ミヲ貽サナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ付テ大臣ニ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ後段ニ御話申上ゲマスガ、先づ學校制度ガ義務ニナツタト云フ

コトニ依ツテ生ジマス大キナ缺陷ヲ見出シマス爲ニ、此ノ青年團等ノ關係ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ從來日本ノ制度トシマスト、新シイモノガ生レテ來マスト、舊イモノガ兎角忘レ勝ニナル、忘レラレヌマデモ輕ンゼラレルヤウナ形ニナルノデアリマス、所ガ色々ノ雑誌ヤ諸大家ノ論文ナドヲ見マスト、義務制度ガ愈々青年學校ノ上ニ行ハレルナラバ、青年團ト云フモノハ先づ行詰リデアル、是カラ大シ夕期待ヲ之ニ掛ケルコトハナイト云フヤウナ論モ所々ニ聞クノデアリマス、是ハ日本ノ青年團ト云フモノガ沿革的デアリ、傳統的デアリ、歷史的デアルコトノ御承知ノナイ御方ノ議論デアリマスケレドモ、又文部省ノ組織ノ上カラ見テモ、私ハ何ダカソコニ力弱ノデアリマス、若シソレガ政府ノ力ニモ缺クル所ガアル、又雇主等ニ無理解ガ多カツタト云フコトデアリマシタナラバ、私達ノ喜ビハ一時ノ喜ビデアリ、一時ノ感謝デアツテ、國家永遠ニハ大キナ憾ミヲ貽サナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ付テ大臣ニ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ後段ニ御話申上ゲマスガ、先づ學校制度ガ義務ニナツタト云フ

コトニ依ツテ生ジマス大キナ缺陷ヲ見出シマス爲ニ、此ノ青年團等ノ關係ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ從來日本ノ制度トシマスト、新シイモノガ生レテ來マスト、舊イモノガ兎角忘レ勝ニナル、忘レラレヌマデモ輕ンゼラレルヤウナ形ニナルノデアリマス、所ガ色々ノ雑誌ヤ諸大家ノ論文ナドヲ見マスト、義務制度ガ愈々青年學校ノ上ニ行ハレルナラバ、青年團ト云フモノハ先づ行詰リデアル、是カラ大シ夕期待ヲ之ニ掛ケルコトハナイト云フヤウナ論モ所々ニ聞クノデアリマス、是ハ日本ノ青年團ト云フモノガ沿革的デアリ、傳統的デアリ、歴史的デアルコトノ御承知ノナイ御方ノ議論デアリマスケレドモ、又文部省ノ組織ノ上カラ見テモ、私ハ何ダカソコニ力弱ノデアリマス、若シソレガ政府ノ力ニモ缺クル所ガアル、又雇主等ニ無理解ガ多カツタト云フコトデアリマシタナラバ、私達ノ喜ビハ一時ノ喜ビデアリ、一時ノ感謝デアツテ、國家永遠ニハ大キナ憾ミヲ貽サナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ付テ大臣ニ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ後段ニ御話申上ゲマスガ、先づ學校制度ガ義務ニナツタト云フ

コトニ依ツテ生ジマス大キナ缺陷ヲ見出シマス爲ニ、此ノ青年團等ノ關係ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ從來日本ノ制度トシマスト、新シイモノガ生レテ來マスト、舊イモノガ兎角忘レ勝ニナル、忘レラレヌマデモ輕ンゼラレルヤウナ形ニナルノデアリマス、所ガ色々ノ雑誌ヤ諸大家ノ論文ナドヲ見マスト、義務制度ガ愈々青年學校ノ上ニ行ハレルナラバ、青年團ト云フモノハ先づ行詰リデアル、是カラ大シ夕期待ヲ之ニ掛ケルコトハナイト云フヤウナ論モ所々ニ聞クノデアリマス、是ハ日本ノ青年團ト云フモノガ沿革的デアリ、傳統的デアリ、歴史的デアルコトノ御承知ノナイ御方ノ議論デアリマスケレドモ、又文部省ノ組織ノ上カラ見テモ、私ハ何ダカソコニ力弱ノデアリマス、若シソレガ政府ノ力ニモ缺クル所ガアル、又雇主等ニ無理解ガ多カツタト云フコトデアリマシタナラバ、私達ノ喜ビハ一時ノ喜ビデアリ、一時ノ感謝デアツテ、國家永遠ニハ大キナ憾ミヲ貽サナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、私ハ此ノ點ニ付テ大臣ニ特ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ後段ニ御話申上ゲマスガ、先づ學校制度ガ義務ニナツタト云フ

本ノ青年團ト云フモノハ非常ニ皇室ノ有難キ思召ニ依ツテ發達ヲシテ來タヘ實ニ世界ニモ類ノナイヤウナ形ニモナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ私ハ此ノ歴史的事實、沿革ニ申上ゲマスト、ドウモ日本ノ青年團ト云フモノハ御下賜金ノ拜戴ヲ致シマシタリ、御言葉ヲ戴キマシタリ、令旨ヲ拜戴致シマシテ、皇室ノ御力ガ非常ニ強イニ拘ラズ、政府ノ御獎勵ト云フモノハドウモ力ガ甚ダ乏シヤウニ思フノデアリマス、補助金ニ豫算ヲ見マスト、青年團ノ元締ニアリマス大日本聯合青年團ニ對シマシテ、補助金ニ四方圓ノ増額ガアルヤウデアリマス、併シ文部省ノ實際ノ御取扱ヲ見マスト、社會教育局ト云フモノガアツテ其ノ中ニ青年教育課ニアリマスカ、所ガ青年團係ト云フ人ハ唯一人ドナタカ居ラレル、私ハ其ノ方ヲ存ジ上ゲマセヌケレドモ、色々ナ會合等ニオ出デニナリマシテ直接御指導下サル方ハ、此ノ御一人ノ方ガヤツテ居ラレル、勿論上ニハ大臣、次官、局長、課長ト居ラレマスケレドモ、實際ノ青年指導——日本二百三十万ノ青年團ノ指導ト云フモノハ、此ノ唯御一人ノ御考ニ依ツテ右ニモ左ニモ動カサレルト云フコトハ、私達平常青年愛護ノ立場デ色々ナコトヲ考ヘテ居リマスト、政府

ト云フモノハドウモソコニ力ガ能ク入ラヌ
ノデハナイカ、殊ニ文部省ト云フ所ハ、學
校教育ト云フコトニハ中々熱心ニオヤリニ
ナリマスケレドモ、其ノ以外ノ教育ニナル
ト何トナク要ラナイ教育、最近ハ社會教育
ナドト言ハレマスケレドモ、何ダカ力ガ入
ラナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、此ノ
間本會議デ佐藤議員カラ、青年團ニ對スル
補助金ノ増額ノコト、又青年團令公布ノコ
トモ質問ガアリマシテ、大臣ハ御考ノ御様
子デアリマシタケレドモ、ドウモ日本ノ議
會ハ英吉利ノ議會ナドト違ヒマシテ、始終
開會ニナリマセヌ、臨時議會ト云フモノモ
極メテ稀デアリマシテ、大臣ガ左様ニ御考
下サマイマシテモ、豫算ニ付テハ昭和十五年
度ノ豫算デナケレバ出來ナイ、斯ウ云フコ
トデアリマシテ、甚ダ私ハ殘念ニ思フノデ
アリマスガ、承リマスト軍事費ノ後ニ更ニ
追加豫算ガ計上セラレルト云フコトデアリ
マスガ、何カ文部省ノ中ニ、有力ナル青年
教育ノ中心機關ヲ御整備ナサル御考ハ持テ
ナイデアリマセウカ、若クハ佐藤議員ノ御
話ニナリマシタ現在ノ大日本聯合青年團ナ
リ、或ハ各府縣ノ青年團ナリ、或ハ村々ノ
青年團ナリニ、此ノ青年學校義務制實施ノ
當初ニ當ツテ、モツト何等カノ御勇斷ヲ願

ヘヌモノデアリマセウカ、サウ云フコトヲ
一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス
○荒木國務大臣 青年團ノ過去ニ於ケル歴
史並ニ其ノ活動ニ付テハ、私モ之ニ十分ニ
尊重シテ、之ヲ活カシテ行クト云フ風ニズ
ベキデアルト考ヘテ居リマス、御尋ノ社會
教育局ノ内ニ於ケル青年團方面、詰リ校外
ニ於ケル運動ノ事務機關、若シクハ之ニ對
スル指導ノ一部ニ携ハルモノノ擴大強化ト
云フコトニ付キマシテモ、其ノ必要ヲ
感ジテ居ルノデアリマス、今は等ニ對シテ
如何ニ爲スペキカラ考究ハ致シテ居リマ
ス、唯文部省内ノ各方面共ニ皆擴大強
化シナケレバナラヌ運命ニナツテ居ル
ノデアリマシテ、財政當局ノ方面ニ於テモ
可ナリ苦心ヲ致シテ居リマスノデ、直チニ
其ノ實現ヲ期シ得ルト云フコトハ如何カト
存ジマスケレドモ、ソレ等ト互ニ睨ミ合セ
マシテ、一方其ノ活動ヲシテ適正ナラシメ
テ、此ノ方面ニ對スル效果ヲ擧デテ行キタ
イト考ヘテ居ル次第デアリマス、又是ハ或
ハ後ノ御尋デ一寸御觸レニナツタカト思ヒ
マスガ、青年團ノ行詰リト云フヤウナコト
ニ付テノ御話デゴザイマシタガ、ヨク此ノ點
校ガ義務制ニナリマス爲ニ、對象ノ青年ガ一

ツデ兩方ニ誇ルノデアリマス、形ガ變ツテ
モ義務制ノ青年學校ノ生徒ト、而シテ青年
團ノ團員ト云フモノハ、自ラ一人デ二役ヲ
ヤラナケレバナラヌ、其ノ爲ニ一方ニ於テ
職業ニ從事シ、一方ニ於テ青年學校ニ於テ
教育ヲ受ケ、他方青年團トシテ又活躍シナ
ケレバナラヌ、其ノ連鎖ガ十分ニアリマセ
ヌト、青年自身ハ非常ナ迷惑ヲスル點ガア
リハシナイカ、ココヲ先般來考ヘマシテ、
小學校ニ於テモ同一デアリマスガ、今教育
ノ方向トシテ進ンデ居リマス校内ノ學問ト
實際ノ仕事ト合シテ行キタイ、殊ニ青年學
校ニ於テハ職業教育ヲヤル、一ツノ校内運
動、校内教育ト、一ツノ校外教育ト云フモ
ノヲ連鎖セシメテ、青年團ノ將來ノ活躍ニ
資シテ行ツタナラバ非常ニ圓滑ニ行ツテ、
ソコニ連鎖ガ取レルノデハナイカ、サウ云
フコトヲ考案シテ、之ヲ活カシツツ一體ノ
モノニ持ツテ行ツタラドウカ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一寸御觸レニ
ナリマシタノデ申上ゲマス

學校ノ振興ニ關シマシテハ、青年團ノ如キ
密接ナ關聯ヲ有スル組織ヲ活用スルコトハ
最モ效果的ナコトト考ヘラレマスノデ、義
務制實施ノ曉ニハ、青年團ハ青年學校ト一
層緊密ナル連絡ヲ取り、常ニ相呼應シテ青
年教育ノ充實發展ニ當ランコトヲ期待スル
ノデアリマス」斯ウアリマスガ、田所サン
ハ此ノ方面ノ教育ノ専門家デアツテ、青年
團ノコトハドウモ少し御諒解ガ出來テ居ラ
ヌデハナイカト思ヒマス、例へバ密接ナ關
聯ヲ執ルトカ、緊密ナル連絡ヲ執ル、斯ウ云
フヤウニ仰セラレルノデアリマスガ、私達永
年青年教育、青年指導ニ志ヲ持ツて居ル者カ
ヲ見マスルト、青年團モ青年學校モ一體ノモ
ノデアル、元デアレバ補習學校及ビ青年訓練
所、是ハ一體ノモノデアル、ツノモノノ表
裏ニモナケレバ、離レルコトノ出來ナイニツ
ノモノデモナイ、一體ノモノデアル、即チ青
年團ニ於キマス關係ハ、同一年齢ノ者ガ横
ニ觸レテ、横觸レヲサセテ切磋琢磨スルノデ
アリマス、所謂團體訓練デアリマシテ、學校ノ
方ハ一つノ所謂教育デアリマシテ、教ヘル
者ト教ハル者トノ一個ノ人格ノ對立ガアリ
マスガ、青年團ノ方ハ團長モ、又副團長モ、
團員モ皆横ノ關係デ切磋琢磨スルモノデア
ル、故ニ青年團ニ於テハ、學校デ修得シマ

シタモノヲ直チニ團體的ニ之ヲ實踐シ訓練
ヲスル、知性ニシマシテモ、學校デ教ハルコ
トヲ青年團ノ横ノ關係切磋琢磨スル、是
ハ一體ノモノデアリ、一如ノモノデアル、
表裏ノモノデナクシテ一體ヲ成シテ居ルモ
不可分ノモノデアリ、一ツノモノデアル、
ノデアル、一ツノモノデアル、私達ハ左様
ニ思フノデアリマス、隨テ青年學校ガ發達
スレバスル程、青年團員ノ知性、德性、體
力ガ増進ヲシマシテ青年團ガ活潑ニナル、
青年團ガ活潑ニナルト同時ニ、學校教育モ
活潑ニナル、斯ウ一ツニナルベキモノデア
ル、ソレヲ一ツ對立サシテ置イテ、ソレノ
緊密ナル連絡ヲ執ルノダ、連繫ヲ執ルノダ
ト云フヤウナ答申ヲシテ居ル、私達ハ餘リ
敬服ヲセヌノデアリマス、文部省デモ、サ
ウ云フヤウナ二ツノ對立ノモノヲ仲好ク結
付ケル、連絡スルト云フノデハナクシテ、
一體ノモノデアル、青年ハ或ハ學校デモ訓
練シ、或ハ團體デモ訓練シ、斯クシテ完全
ナル人格ガ出來上ルノダ、斯ウ云フ風ニ見
テ戴ク方ガ私ハ宜イノデハナイカト思フノ
デアリマス、實際問題トシマシテハ、地方ニ行
ツテ見マスト、學校ト青年團トガ繩張争ヒト
言ヒマスカ、ドウモオ前ハ青年學校ニ多ク出

カニデ青年團ノ方ニバカリ出テ居ルデハナ
イカ、ト言フカト思フト、青年學校ノ方ニバ
カリ行ツテ青年團ノ方ニハ出ナイデハナ
モソレガ當リ前ノヤウナ考ヲ持ツテ居ラレ
ル所ガアリマスガ、是ハサウデハナイ、一
ツノ日本國民、日本青年又或ハ學校ノ形ニ
於テ訓練シ、教育シ、鍛錬シ、或ハ青年團
ノ形ニ於テ團體的ノ訓練ヲスル、斯ウ一如
ニ御考ヲ願ヒ、一面ニ於キマシテ青年團ニ付
ノ義務制度ガ布カレマスルト、青年團ニ付
テモ一つ統一ヲ付ケテ行カレテハドウデア
ルカ、私ハ青年團法ト云フ法令ヲ作レトハ
申シマセヌガ、團令ト云フヤウナモノ、是
ハ費用モ掛リマセヌシ、訓令ヲ御書キニナ
ルヤウナ意味デ團令ヲ作レバ、ソレデ青年
學校ト青年團トノ關係モハツキリ一如ノ形
ヲ現ハスコトガ出來ルト思フノデアリマス
ガ、是ハ議會ヲ俟チマセヌ問題デモアリマ
スシ、何トカソコニ御工夫ヲ願フコトハ出
來ナイノデアリマセウカ、此ノ教育審議會
ノ御答申、委員長報告ハ私達ニハ餘程物足ラ
ナク思ハレマス、此ノ答申方惡イト云フ意
味デハアリマセヌガ、私達ノ考ハ此ノ二ツ
ハ一如ニアリト考ヘテ居ル、サウ云フ御方

○荒木國務大臣 實ハ前段ノ御答ガ其ノ問
題ニ對シテノ御答ノヤウニナツタノデアリ
マス、青年學校ノ義務制ガ行ハレルマデハ、
或ハ青年團ノ方ニダケ出ルトカ、或ハ青年
學校ノ方ニダケ出ルトカ云フ事例ガアツタ
ニ行ハレマスト、悉ク青年學校ニ出ナケレ
バナラヌ、同時ニ青年團ハ青年學校ノ一ツ
ノ校外訓練トシテ、當然存立スベキモノデ
アリマス、此ノ兩者ガ殆ド一體ニナラナケ
レバ、青年ノ訓練モ出來ナイコトニナルノ
云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、ソレ
デ青年團ヲドウスルカ、青年學校ノ制度ヲ
ドウスルカニ付テハ、青年團ニモ事情ガアリ
ラウシ、青年學校ノ動イテ行ク傾向モアラ
ウト思ヒマス、尙ホ青年團ノ方ハ年齡ガ二
十五マデ延ビテ居リマシテ、青年學校ト責
ノ邊ハ能ク兩者檢討ヲ致シタイト思ヒマス、
ド一致スルコトニナルダラウト思ヒマス、
私ガ今述ベタコトハ、田子委員ノ御考ト殆
ガ、ソレヲ如何ニ具體化スルカニ付テハ、
モウ少シ研究ヲ致シタイト思ヒマス

○田子委員 私ノ御願シタイト思フコト
ハ、今年ハ青年學校ノ義務制方實施サレル
第一年目デアリマスシ、十一月二十二日ハ
青年團ノ令旨ヲ奉戴シマシタ青年記念日デ
アリマスノデ、此ノ令旨奉戴ノ記念日十一

月二十二日マデニ色々御研究下サイマシテ、
青年團令ト云フヤウナ勅令デモ御發布ヲ願
ヘレバ結構ダト思フノデゴザイマス、併シ
政府ニ日ヲ指定シテ申上ゲルコトハ失禮ト
思ヒマスカラ、是ハ私ノ希望トシテ申上ゲ
テ置キマス

ソレカラ佐藤委員モ御話ニナツタノデゴ
ザイマスガ、私ハ青年團ニ對スル國ヤ府縣
ノ御世話ガ非常ニ足ラナイト思フ、ドウモ
公立學校ノミニ偏ツテ居ルコトハ行政上宜
シクナイ、茲ニ青年團ニ關スル費用ヲ一寸
大臣ニ申上ゲマス、是ハ文部省ノ統計デア
リマスカラ、文部大臣ニ申上ゲルノハ逆デ
申シマスト、昭和十一年三月末ノ文部省調
デハ、小學校ハ一人當リ二十六圓、中學校
ハ七十六圓、女學校ハ六十二圓、師範學校
ハ三百三十五圓、高等學校ハ三百八十四
圓、大學校ハ七百七十七圓、青年學校ハ九
圓デ、青年學校ガ一番少イノデアリマス、
所ガ青年團ニ對シマシテノ一人當リノ費用

ハ、府縣費其ノ他ノ町村費モ入レマシテ十
錢デアリマス、國費ハ今年十万圓ニナリマ
ラ、兩者合セテ一年一人當リ十四錢ノ獎勵
費シカナイト云フ計算ニナルノデアリマス、私
ハ金高ダケニ依ツテ國ガ力ヲ入レテ居ルカ、
府縣ガ力ヲ入レテ居ルカト云フ其ノ程度ヲ
計ルコトハ、稍、早計ナ結論ト思ヒマスケレ
ドモ、一面ニ大學ナドニ參ルコトノ出來ル富
裕ノ者ハ、年ニ七百七十七圓モ國家ガ出し、一
方貧乏デ田舎ニ殘ツテ、教育ノ恩惠ニモ浴シ
兼ネテ居ルヤウナ人々ハ、僅ニ國及ビ府縣、
町村マデ合セテ十四錢シカナイ、是デハ
餘リニ待遇ガ惡イト申シマスカ、獎勵ノ仕
方ガ惡イト申シマスカ、家族制度ノ崩壊シ
ツツアル今日、經濟的ニ惠マレヌ者ハ何處
マデ不幸ナモノダ、斯ウ云フコトヲ私ハ
非常ニ深ク憂ト致ス者デアリマス、ドウカ
費用ニ付テハ、モウ少シ青年學校ニモ力ヲ
入レ、又青年團ニモ力ヲ入レル、斯ウ云フ
御答ヲモウ一度御願致シマス

○田子委員 モウ一ツ青年指導ニ付テ、政
府ノ力ガ入ラヌ爲デモゴザイマセウカ、民
間ノ青年修養機關、指導機關ハ非常ニ亂雜
ノヤウニ思ヒマス、私ガ一寸調べマシタ所
デモ、產業組合ニハ產業組合青年聯盟、農
會ニハ青年部、近ク漁業組合デハ青年聯盟
ヲ作ルト云フコトデアリマス、民間ノ有志
ノ團體ニ於テハ、少年團日本聯盟、帝國青
年團協會、赤十字青年團、壯年團、色々ア
リマスガ又總理ノ顧問ヲシテ居ラレマス修
養團、斯ウ云フモノガアルノデアリマス、
是等ノ書イテ居ルノヲ見マスト、全然反對
意見デハゴザイマセヌケレドモ、指導ニド
ウモ統一ガナニ、是ハ餘程大キナコトデア
リマシテ、斯ウ云フモノモ何カ一ツ御纏メ
ニナツテ、青年團令ト云フヤウナモノヲ作
シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、是等ノ
間ノ連絡ニ付キマシテハ、文部省ト致シマ
シテ居ルノデアリマスガ、御話ニアリマシタ
通リ、尙ホ其ノ他ノ特殊ナル目的ヲ持ツテ
地ニ立チマシテ行ツテ居ルモノト兩者アル
ヲ目指シテ居リマスモノト、或ル特定ノ見
ソレ等ハ全面的ナ意味ノ青少年ノ修養向上
ノヤウニ思ヒマス、私ガ一寸調べマシタ所
面ニ對シテ更ニ力ヲ入レテ物質的ニモ援助
シテ、是ハ一人當リ四錢デゴザイマスカ
ラ、兩者合セテ一年一人當リ十四錢ノ獎勵
費シカナイト云フ計算ニナルノデアリマス、私
ハ金高ダケニ依ツテ國ガ力ヲ入レテ居ルカ、
府縣ガ力ヲ入レテ居ルカト云フ其ノ程度ヲ
計ルコトハ、稍、早計ナ結論ト思ヒマスケレ
ドモ、一面ニ大學ナドニ參ルコトノ出來ル富
裕ノ者ハ、年ニ七百七十七圓モ國家ガ出し、一
方貧乏デ田舎ニ殘ツテ、教育ノ恩惠ニモ浴シ
兼ネテ居ルヤウナ人々ハ、僅ニ國及ビ府縣、
町村マデ合セテ十四錢シカナイ、是デハ
餘リニ待遇ガ惡イト申シマスカ、獎勵ノ仕
方ガ惡イト申シマスカ、家族制度ノ崩壊シ
ツツアル今日、經濟的ニ惠マレヌ者ハ何處
マデ不幸ナモノダ、斯ウ云フコトヲ私ハ
非常ニ深ク憂ト致ス者デアリマス、ドウカ
費用ニ付テハ、モウ少シ青年學校ニモ力ヲ
入レ、又青年團ニモ力ヲ入レル、斯ウ云フ
御答ヲモウ一度御願致シマス

○荒木國務大臣 數字ノ問題デハ今御述べ
ニナツタヤウニナリマスガ、只今田子委員
ノ御述ニナリマシタヤウナ、各方面ノ關係
カラ、其ノ比較方直ニドウナルカト云フ
コトニ付テハ、御諒承願ツテ置キタイト思
ハ、府縣費其ノ他ノ町村費モ入レマシテ十
錢デアリマス、國費ハ今年十万圓ニナリマ
ラ、兩者合セテ一年一人當リ十四錢ノ獎勵
費シカナイト云フ計算ニナルノデアリマス、私
ハ金高ダケニ依ツテ國ガ力ヲ入レテ居ルカ、
府縣ガ力ヲ入レテ居ルカト云フ其ノ程度ヲ
計ルコトハ、稍、早計ナ結論ト思ヒマスケレ
ドモ、一面ニ大學ナドニ參ルコトノ出來ル富
裕ノ者ハ、年ニ七百七十七圓モ國家ガ出し、一
方貧乏デ田舎ニ殘ツテ、教育ノ恩惠ニモ浴シ
兼ネテ居ルヤウナ人々ハ、僅ニ國及ビ府縣、
町村マデ合セテ十四錢シカナイ、是デハ
餘リニ待遇ガ惡イト申シマスカ、獎勵ノ仕
方ガ惡イト申シマスカ、家族制度ノ崩壊シ
ツツアル今日、經濟的ニ惠マレヌ者ハ何處
マデ不幸ナモノダ、斯ウ云フコトヲ私ハ
非常ニ深ク憂ト致ス者デアリマス、ドウカ
費用ニ付テハ、モウ少シ青年學校ニモ力ヲ
入レ、又青年團ニモ力ヲ入レル、斯ウ云フ
御答ヲモウ一度御願致シマス

○田子委員 只今田子委員ノ御話ガゴ

ザイマスシタヤウニ、各種ノ青少年ノ團體

ガ今日我國ニ存在シテ居ルノデアリマス、

大臣ニ伺フヨリモ、政府委員ニ御伺シタ

ニナリマシタ以上ハ、此ノ完璧ヲ圖ルニ付

ト思ヒマス

○田中政府委員 只今田子委員ノ御話ガゴ

ザイマスシタヤウニ、各種ノ青少年ノ團體

ガ今日我國ニ存在シテ居ルノデアリマス、

大臣ニ伺フヨリモ、政府委員ニ御伺シタ

ニナリマシタ以上ハ、此ノ完璧ヲ圖ルニ付

ト思ヒマス

○田子委員 モウ一ツ青年指導ニ付テ、政

府ノ力ガ入ラヌ爲デモゴザイマセウカ、民

間ノ青年修養機關、指導機關ハ非常ニ亂雜

ノヤウニ思ヒマス、私ガ一寸調べマシタ所

デモ、產業組合ニハ產業組合青年聯盟、農

會ニハ青年部、近ク漁業組合デハ青年聯盟

ヲ作ルト云フコトデアリマス、民間ノ有志

ノ團體ニ於テハ、少年團日本聯盟、帝國青

年團協會、赤十字青年團、壯年團、色々ア

リマスガ又總理ノ顧問ヲシテ居ラレマス修

養團、斯ウ云フモノガアルノデアリマス、

是等ノ書イテ居ルノヲ見マスト、全然反對

意見デハゴザイマセヌケレドモ、指導ニド

ウモ統一ガナニ、是ハ餘程大キナコトデア

リマシテ、斯ウ云フモノモ何カ一ツ御纏メ

ニナツテ、青年團令ト云フヤウナモノヲ作

シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、是等ノ

間ノ連絡ニ付キマシテハ、文部省ト致シマ

シテモ從來ヨリ考究シテ居ルモノガアルノ

デアリマス、ソレガ今日一ツニナルト云フ

所マデハマダ行ツテ居ラナイノデアリマス、

ニシテ、家族主義ヲ中心ニシテ、日本ノ國風

稱ヲ用ヒマスコトハ甚ダ面白クナイコトデ

アリマスノデ、一般的ノ修養ヲ目的ト致シ

マス青年ノ團結ヲ青年團ト稱シマシテ、他ノ目的カラ青年ガ團結致シテ居リマス所ノモノハ、青年團ト云フ名稱ヲ用ヒナイト云フ風ニ、豫、他ノ者ニ對シマシテモ要求致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ將來ノ問題ト致シマスト一般的ノ青年ノ團體ト、特別ナル目的ヲ持ツテ居ル所ノ青年ノ團體トノ連絡、乃至ハ其ノ間ノ組織ト云フコトニ付キマシテハ、一層研究ヲ要ス年ノ團體トノ連絡、乃至ハ其ノ間ノ組織トベキモノガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、少年團ノ問題ニ於キマシテモヤハリ同様デアリマシテ、種々ナル沿革ト種々ナル特質等ヲ持チマシタ少年團ガ存在シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ統合、其ノ間ノ連絡統制ト云フコトニ關シマシテハ、當事者ノ間ニ於キマシテモ種々研究シ、考究シテ居ルノデアリマスガ、當局ニ於キマシテモ其ノ點實ハ相當ノ研究ト助力トヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯今日ソレガ直チソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウセヌコトハ眼前ノ事實デアリマスガ、其ノ點ノ改善ニ付キマシテハ、文部當局ト致シマシテモ更ニ一層ノ努力ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田子委員 青年團ノコトハ其ノ程度ニ止メマシテ、尙ホ御考ヲ希望致シマス、義務務者ノ就學ヲ妨ゲルコトハ出來ナイト云フ風ニ、豫、他ノ者ニ對シマシテモ要求致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ將來ノ問題ト致シマスト一般的ノ青年ノ團體ト、特別ナル目的ヲ持ツテ居ル所ノ青年ノ團體トノ連絡、乃至ハ其ノ間ノ組織ト云フコトニ付キマシテハ、一層研究ヲ要ス年ノ團體トノ連絡、乃至ハ其ノ間ノ組織トベキモノガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、少年團ノ問題ニ於キマシテモヤハリ同様デアリマシテ、種々ナル沿革ト種々ナル特質等ヲ持チマシタ少年團ガ存在シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ統合、其ノ間ノ連絡統制ト云フコトニ關シマシテハ、當事者ノ間ニ於キマシテモ種々研究シ、考究シテ居ルノデアリマスガ、當局ニ於キマシテモ其ノ點實ハ相當ノ研究ト助力トヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯今日ソレガ直チソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウセヌコトハ眼前ノ事實デアリマスガ、其ノ點ノ改善ニ付キマシテハ、文部當局ト致シマシテモ更ニ一層ノ努力ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

制度ニ於ケル青年學校ノ效果ヲ擧ゲル爲ニ、昨日ハ政府委員カラ事務的ノ御答辯ヲ得テ、ヒマス、ソレハ今マデ教育ヲ受ケルコトノ出来ナカツタ青年達ガ、政府ノ御盡力ニ依ツテ、茲ニ義務トシテ親權者ハ之ヲ就學セナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、非常ニ私達喜ブベキコトデアリマスガ、併シ是ガ中々難關ニ思フノデアリマス、ソレヲ完全ニシマスルニハ、内務省アタリノ考ナドモ餘程改メテ戴カナケレバナラヌ、此ノ間カラ庄司委員ハ、昭和十三年度ノ當初豫算ヨリ十四年度ハ五分減ノ通牒ヲ市町村ハ受ケテ居ル、青年學校義務制實施ノ第一年ニハ左様ナコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ所、サウ云フ通牒ハヤツテ居ナイ、マア緊縮ヲスルノダ、斯ウソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマス、然ラバ青年學校義務制実施ノ場合ニ當ツテ、其ノ緊縮ノ例外トシテ認メテ貰フコトハ出來ナイカ、サウシテ云フノデアリマス、是ハ多クハ雇傭主ヲ云フコトデアリマス、是ハ多クハ雇傭主ヲ持ツタ青年ダラウト思フノデアリマス、此ノ餘ノ九〇%ノ人ヲ就學サセルノニハ、ドウシテモ雇傭主、實業家方面、使用主ノ方ニ十分ナ諒解ヲ戴カナケレバナラスト思フ、テモ宜イノデハナイカト思フ、ア、云フ費用ガアルナラバ學ブニ資力ノナイヤウナ青

ガ少イカラ、政府カラ通牒デモ出シテ戴イテ之ヲ増額シテ戴キタイト云フ質問ヲシマセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、茲ニ義務トシテ親權者ハ之ヲ就學セナケレバ何モナイノデアリマス、モウセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、非常ニ私達喜ブベキコトデアリマスガ、併シ是ガ中々難關ニ思フノデアリマス、ソレヲ完全ニシマスルニハ、内務省アタリノ考ナドモ餘程改メテ戴カナケレバナラヌ、此ノ間カラ庄司委員ハ、昭和十三年度ノ當初豫算ヨリ十四年度ハ五分減ノ通牒ヲ市町村ハ受ケテ居ル、青年學校義務制實施ノ第一年ニハ左様ナコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ所、サウ云フ通牒ハヤツテ居ナイ、マア緊縮ヲスルノダ、斯ウソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマス、然ラバ青年學校義務制実施ノ場合ニ當ツテ、其ノ緊縮ノ例外トシテ認メテ貰フコトハ出來ナイカ、サウシテ云フノデアリマス、是ハ多クハ雇傭主ヲ云フコトデアリマスケレドモ、私達ハ議會ガ濟ムト總理大臣ノ御招待ヲ拜シマスルシ、又各大臣ノ御招待モアルノデアリマス、ア、ウシテモ雇傭主、實業家方面、使用主ノ方ニ十分ナ諒解ヲ戴カナケレバナラスト思フ、テモ宜イノデハナイカト思フ、ア、云フ費用ガアルナラバ學ブニ資力ノナイヤウナ青ガ少イカラ、政府カラ通牒デモ出シテ戴イテ之ヲ増額シテ戴キタイト云フ質問ヲシマセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、茲ニ義務トシテ親權者ハ之ヲ就學セナケレバ何モナイノデアリマス、モウセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、非常ニ私達喜ブベキコトデアリマスガ、併シ是ガ中々難關ニ思フノデアリマス、ソレヲ完全ニシマスルニハ、内務省アタリノ考ナドモ餘程改メテ戴カナケレバナラヌ、此ノ間カラ庄司委員ハ、昭和十三年度ノ當初豫算ヨリ十四年度ハ五分減ノ通牒ヲ市町村ハ受ケテ居ル、青年學校義務制實施ノ第一年ニハ左様ナコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ所、サウ云フ通牒ハヤツテ居ナイ、マア緊縮ヲスルノダ、斯ウソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマス、然ラバ青年學校義務制実施ノ場合ニ當ツテ、其ノ緊縮ノ例外トシテ認メテ貰フコトハ出來ナイカ、サウシテ云フノデアリマス、是ハ多クハ雇傭主ヲ云フコトデアリマスケレドモ、私達ハ議會ガ濟ムト總理大臣ノ御招待ヲ拜シマスルシ、又各大臣ノ御招待モアルノデアリマス、ア、ウシテモ雇傭主、實業家方面、使用主ノ方ニ十分ナ諒解ヲ戴カナケレバナラスト思フ、テモ宜イノデハナイカト思フ、ア、云フ費用ガアルナラバ學ブニ資力ノナイヤウナ青ガ少イカラ、政府カラ通牒デモ出シテ戴イテ之ヲ増額シテ戴キタイト云フ質問ヲシマセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、茲ニ義務トシテ親權者ハ之ヲ就學セナケレバ何モナイノデアリマス、モウセナケレバナラスト云フ制度ノ出來マシタコトハ、非常ニ私達喜ブベキコトデアリマスガ、併シ是ガ中々難關ニ思フノデアリマス、ソレヲ完全ニシマスルニハ、内務省アタリノ考ナドモ餘程改メテ戴カナケレバナラヌ、此ノ間カラ庄司委員ハ、昭和十三年度ノ當初豫算ヨリ十四年度ハ五分減ノ通牒ヲ市町村ハ受ケテ居ル、青年學校義務制實施ノ第一年ニハ左様ナコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ所、サウ云フ通牒ハヤツテ居ナイ、マア緊縮ヲスルノダ、斯ウソレモ財政ノ都合ニ依ツテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマス、然ラバ青年學校義務制実施ノ場合ニ當ツテ、其ノ緊縮ノ例外トシテ認メテ貰フコトハ出來ナイカ、サウシテ云フノデアリマス、是ハ多クハ雇傭主ヲ云フコトデアリマスケレドモ、私達ハ議會ガ濟ムト總理大臣ノ御招待ヲ拜シマスルシ、又各大臣ノ御招待モアルノデアリマス、ア、ウシテモ雇傭主、實業家方面、使用主ノ方ニ十分ナ諒解ヲ戴カナケレバナラスト思フ、テモ宜イノデハナイカト思フ、ア、云フ費用ガアルナラバ學ブニ資力ノナイヤウナ青

ダケデ、アトハ地方長官ニ御委セデアルト云フコトデアツテハ、ドウモ私ハ效果方舉ニ良イ組織ガ出来ナクテ、殘念ダト云フ者ガアリマス、トガ出来ナクテ、而モソレニ入ルコト又賣業家カラ言ベバ、ドウモ厄介ナモノダ、勞働時間ヲ勝手ニ學校ニ行カレテハドウモ仕事ハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナツテ、實ニ紛雜ヲ起スノデアリマス、御承知ノヤ

ソレカラ青年團ナドニ長ク勤メテ居リマス、中伊テ居リマス地方ノ者モゴザイマスシ、中央ニ居ル人モアルヤウデアリマスガ、ア、云フ人モ大臣ノオ暇ガアリマシタ時ニ官邸ニ御呼びニナリマシテ、激勵シテ戴クト云フコトハ、非常ニ有效ナコトデアラウト思ヒマスカラ、サウ云フコトニモ御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府委員カラ承リマシタガ、勞働立法ノ方ニ、青年學校就學ニ要スル時間ハ勞働時間ト看做スト云フヤウナ改正ヲナサラヌト、是ハドウシテモ行ハレヌノデアリマス、モウ二日ニナリマスガ、相當ナコトデハ是ハ納ラヌト思ヒマスカラ、當是ハ議論ノアル問題ダラウト思ヒマスケレドモ、マダ其ノ法案が出て参リマセヌ、ドウカ速ニ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス、タラドウカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ御暇ハ一寸出來ナイモノデアリマセウカ

○荒木國務大臣 雇傭主ノ關係ハ重要ナ問題デアリマス、其ノ點ニ付テハ吾々モ非ノ御意見ノ、總理大臣若クハ所管大臣ガ是等ニ呼掛けテ勸説スルト云フコトハ一つノ御審議ヲ仰グヤウナ段取ニ致シタイト考ス、ソレ等ノ實施ニ付キマシテハ十分ニ考ヘマシテ、其ノ效果ヲ舉ゲルヤウナ方策ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○田子委員 ソレカラ青年團ナドニ長ク勤メテ居リマス、此ノ間總理大臣ニ質問ヲシマシタ時ニ、總理大臣ハ御考慮下サルト云フコトデアリマシタガ、從來青年指導者、青年團ノ關係者ナドニ隨分熱ヲ入レテ生命ヲ捨テテ居ル人ガ澤山ゴザイマス、現在デモ鉢位競争等ノ御沙汰ガアツタト云フコトデゴザイマスケレドモ、今度ハ民間デ報酬モ受ケズ働イテ居ル人ニ、成ベク聖恩竝ニ政府ノ御優遇ガ及ブヤウニ、一ツ御盡力ヲシテ戴キタイ、私ノ質問ハ是デ終リマスガ、別ニ御答辯ハ要リマセヌ

○椎尾委員 鳩尾辨匡君 初メニ青年學校直接ノコトヲ立シテ、徐々ニ本科ノ五箇年ヲ全ウスルヤトヲ御伺シタイト思ヒマス、青年學校ノ義務制ニ付キマシテハ、申スマデモナク昨年ノ一月、特ニ急ニ施行スル必要アリト云フトヲ御伺シタイト思ヒマス、青年學校ノ義務制ニ付キマシテハ、重大ナル支障ハナイヤウニ今コトデ、審議會ヲモ待タズ發布ニナツタノデアリマス、ソレハ大臣モ其ノ後御送リニコトガ宜イト云フコトモ諒承サレルコトデ

方法デアリ、又有效ナ方法デアルト思ヒマス、ソレ等ノ實施ニ付キマシテハ十分ニ考ヘマシテ、其ノ效果ヲ舉ゲルヤウナ方策ヲ度ニ行キマスルコトハ、尙ほ若干ノ困難ガ講ジタイト考ヘテ居リマス

○田子委員 ソレカラ青年團ナドニ長ク勤メテ居リマス、此ノ間總理大臣ニ質問ヲシマシタ時ニ、總理大臣ハ御考慮下サルト云フコトデアリマシタガ、從來青年指導者、青年團ノ關係者ナドニ隨分熱ヲ入レテ生命ヲ捨テテ居ル人ガ澤山ゴザイマス、現在デモ鉢位競争等ノ御沙汰ガアツタト云フコトデゴザイマスケレドモ、今度ハ民間デ報酬モ受ケズ働イテ居ル人ニ、成ベク聖恩竝ニ政府ノ御優遇ガ及ブヤウニ、一ツ御盡力ヲシテ戴キタイ、私ノ質問ハ是デ終リマスガ、別ニ御答辯ハ要リマセヌ

○野村委員長 植尾辨匡君 初メニ青年學校直接ノコトヲ立シテ、徐々ニ本科ノ五箇年ヲ全ウスルヤトヲ御伺シタイト思ヒマス、青年學校ノ義務制ニ付キマシテハ、申スマデモナク昨年ノ一月、特ニ急ニ施行スル必要アリト云フコトデ、審議會ヲモ待タズ發布ニナツタノデアリマス、ソレハ大臣モ其ノ後御送リニコトガ宜イト云フコトモ諒承サレルコトデ

ノ御審議ヲ仰グヤウナ段取ニ致シタイト考ス、ソレ等ノ實施ニ付キマシテハ十分ニ考ヘマシテ、其ノ效果ヲ舉ゲルヤウナ方策ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○田子委員 此ノ間總理大臣ニ質問ヲシマシタ時ニ、總理大臣ハ御考慮下サルト云フコトデアリマシタガ、從來青年指導者、青年團ノ關係者ナドニ隨分熱ヲ入レテ生命ヲ捨テテ居ル人ガ澤山ゴザイマス、現在デモ鉢位競争等ノ御沙汰ガアツタト云フコトデゴザイマスケレドモ、今度ハ民間デ報酬モ受ケズ働イテ居ル人ニ、成ベク聖恩竝ニ政府ノ御優遇ガ及ブヤウニ、一ツ御盡力ヲシテ戴キタイ、私ノ質問ハ是デ終リマスガ、別ニ御答辯ハ要リマセヌ

○田中政府委員 只今關係方面ト折衝シテ居ルノデアリマスガ、大體各省ノ關係ニ於キマシテハ、重大ナル支障ハナイヤウニ今ノ所豫想致シテ居リマス、就キマシテ政府部内ニ於キマシテハ、久シカラズシテ議會

フコトニ對シテ、特ニ青年教養ニ關シテ急
ナル施行指導ヲ要スルコトガ多々アルト思
フノデアリマス、政府ハ八年後デナケレバ
效果ノ現ハレテ來ナイ義務制ノ施行ニ藉口
シテ、當面ノ時局ニ對シテ青年ヲ指導シ、其
ノ身心、膽力、體力、總テヲ充實スルト云フ
問題ヲ閑却シテ居ルヤウニ見エルノデアリ
マスガ、特ニ當面ノ青年指導ニ付テ即刻實
行スルト云フヤウナコトニ對シテハドウ云
フ御考デアルカ、更ニ其ノ事ハ審議會等ニ
問題ヲ御移シニナルコトガ多カツタノデア
リマスガ、審議會ニシマシテモ、ヤハリ文
部省ノ方針ニ依ツテ率キラレテ行クト云フ
風ニ見ユルモノガアルノデアリマシテ、審
議會ノ動キガ時局ニ即シ、將來ノ日本ノ躍
進ニ對シ、東亞ノ指導ニ對シテノ十分ナル
準備ガ考究サレナイノハ、政府殊ニ文部省
ガ幾ラカソレヲ「リード」シツツ、サウ云フ
革新的ナ、飛躍的ナ、根本的ナ考へ方ヲシ
テ居ラレヌ爲デアルト云フウヤナ感ジヲ以
テ非難スル者モ多々アルノデアリマスル
ガ、文部省ニ於キマシテハ、青年教育ナ
リ刻下必要ナルコトニ關シテ、特ニソレ
ヲ充實スル御計畫ガアルノデアリマスカ、
モウ一步具體的ニ言ヒマスルナラバ、青年
學校義務制度ノ立素施行モ必要デアリマス

ガ、特ニ現在審議會ニ諮問ニナツテ居ルヤ
ウナ第一號諮問ノ外ニ、時局ニ對應シテ即
別ニ御諮問ニナルト云フコトモ、アノ會ヲ
活カス所以デアルカト思フデアリマスガ、
第一號諮問ヲオ出シニナツタ切リデ、ソレ
デモ是ハ恐ラク數年掛ルノデアリマスカ
ラ、其ノ間時局ニ對スルコトヲ何等進メラ
レナイト云フコトハ、ヤハリ之ヲ「リード」
シテ行ク文部省ナリ大臣ナリノ御考ノ上
ニ、直接ノ問題ヲ十分ニ研究セシメテ善處
スルト云フコトガ足リナイヤウニ思フノデ
アリマスガ、當面ノ青年指導ナリ教育指導
ナリニ付テ、ドウ云フ御用意ヲ持ツテオ居
デデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺致シタイト
思ヒマス

タ一、必ズシモ審議會ノ答申ヲ俟ツテ總テ
ノ事ヲスルト云フヤウナ考ハ、實ハ持ツテ
居ラヌノデアリマス、昨年モ既ニ學問ト實
行、實踐、更ニ勤勞ヲ獎勵シテ、單ニ學校
ノ内ニテ研究スル、或ハ修學スルバカリデア
ナクシテ、實際ノ方面ニ於ケル鍛錬ト云フ
ヤウナ風デ、準備モ十分デナカツタノデア
リマスガ、取敢ズ行ノ方面ニ向ツテ一部ノ
實施ヲ行ヒ、又更ニ思想、情操ノ方面ニ向
ヒマシテモ、農學校ノ如キハ暑中休暇
モ廢シマシテ、農業ノ勤勞、又ハ情操
教育トシマシテ、其ノ間ニ於ケル休暇
ノ若干ハサウ云フ方面ニ用ヒサセルヤ
ウニシテ、既ニ實施ヲシテ居ルヤウナ
譯デアリマス、斯様ナ方面ニ依ツテ、審議
會ノ審議ト相俟ツテ、實行スベキモノハ實
行シテ居ツタノデアリマス、又今後モサウ
云フ方法ヲ採ツテ行キタイト思ツテ居リマ
ス、審議會ガ此ノ時局ノ動キニ對シテ、急
速ヲ要スル問題ニ付テハ今マデ其ノ活動ガ
十分デハナイト云フ御感ジハアルカトモ存
ジマスケレドモ、逐次ニ反映ヲシマシテア
クヤウニ致シタイト努力シテ居リマスシ、サ
ウ云フ方向ニ實ハ進メテ居ルヤウナ次第デ
アリマス、今後ノ審議會ノ審議ハ、寧口根

本ニ觸レテ、更ニ出來得ルナラバ速ニ第一
號ノ審議ヲ終ルヤウニシテ戴キタイト考ヘ
テ居リマス、今數年ト云フ御話モアリマシ
タガ、少クモ今年ノ上半期位ニ於テ一ツノ
骨子ヲ得タイト存ジテ居リマス、斯様ニシ
テ審議會ノ末段ニ於テハ、一切ノ根本問題
ニ對シテ十分ナ審議ヲ煩ハシタイト存ジテ
居ルヤウナ次第デアリマス、今日マデサウ
云フ點ニ付テ多少遺憾ノ點モアルカトハ存
ジマスケレドモ、左様ナ方法デ進ンデ行ク
ト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス
ソレカラ青年學校ノ義務制ニ付テ、昨年
審議會ニ諸ラズシテ決定セラレマシタ當時
ノ事情ト、今日ニ於ケル事情トヲ考ヘテ見
ルト、毛頭變ツテ居ラスト存ジテ居リマス、
當時ハ青年ノ最モ健全ナ發達ヲ急速ニ期ス
ル、斯様ナ意思カラ非常ニ急ガレタコトト
存ジマス、然ラバ之ヲ直グニ全部實行スル
コトモヤツテヤレスコトモナイカト思ヒマ
スガ、能ク事務的ニ考ヘテ參リマスト、餘
リニ粗雑ニ致シマシテハ後ニ害ヲ貽スヤウ
ナコトモアリ、又準備ノ方面ノ教員養成、
其ノ他制度等ノ上カラ急速ニ出來ナカツタ
コトト、又財政當局ノ方ノ色々ノ振合ガア
リマシテ、今年ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、
豫科ノ一年ダケガ出來ルコトニナツタノデ

アリマス、今後、當初ノ必要ニ迫ラレタ當時ノ思想ヲ其ノ儘持ツテ行ツテ、急速ニ此シテ居ルノデアリマス、又一般ノ思想、此ノ大事ナ青年ノ思想動向、ソレ等ニ對スル所ノ教養ニ付テハ、只今申上ゲタヤウニ、知ル直グ行フ、知行一體ニナルヤウナ考ヲ以チマシテ、一切ヲ學ゲテ臣民トシテノ御奉公ノ上ニ注グ、斯ウ云フ考デ一切ノ教育ヲソコニ集中シタイ、之ヲ學校内ハ固ヨリ、社會教育ノ方面ニ於テモ、又屢々繰返スヤウデアリマスガ、下ハ小學校カラ出發シテ、最後ノ學府マデノ間ニ一貫シタ一ツノ思想ヲ植エ付ケテ行クコトニ關シマシテ、ソレゾレ制度ノ上カラモ今日考究シタイト思ツテ居ルヤナウ次第デアリマス、以上ノヤナウ經過ヲ執り、且ツ將來ニ對スル考ヲ持ツテ居リマス

○椎尾委員 能ク了承致シマシタ、サウシテ只、今ノ御説明ニ依ツテ感ジマシタコトハ、審議會ノ方ニ對スル此ノ第一號ニ依リマス一般的ノ教育ニ關スル制度ナリ内容ナリノ時局ニ對シテ特ニ急施ヲ要スルコトモ、何カ御諮詢ニナリ、促進セラルベキモノカト

云フ考ヲ持ツテ居リマシタガ、ソレハ寧ロ實行ヤラレルト云フ御意見ノ程ヲ知ルコトガ出來マシタガ、ソレハサウ云フ形ノミデ進ミ得ルカドウカハ別問題ト致シマシテ、サウ云フ御方針デアルトシマシテ、直接ニ時局ニ對シマシテ指導シテ參リマス上ニ、竝ニ永遠ノ日本ノ動キヲ指導シテ參リマス上ニ、指導精神ヲ極メテ明確ニスルコトハ必要ナコトデアリマス勿論教育勅語ノ御精神、即チ肇國以來ノ大理想ヲ具現セラレテ居リマス此ノ御精神ヲ充實シ、徹底スルコトニ相違アリマセヌガ、此ノ御精神ヲ充實シ徹底スルコトニナリマスト、實際問題トシテハ幾多ノ問題ガ出テ參ルノデアリマス、ソレ故ニサウ云フ點カラ特ニ根本ニ關係アリト思ヒマスコトヲ二三御伺致シタイト思フノデアリマス第一ニハ、豫テ荒木サンガ陸軍大臣デ在ラレマシタ頃ニ、特ニ皇道主義ヲ高調セラレマシテ、其ノ頭カラ一層國民ニ其ノ認識ヲ深メマシタコトハ洵ニ尊イコトデアツタト存ジマス、日本精神、其ノ中心ガ即チノ皇道精神デアルコトハ申スマデモナイ、此

スルガ、皇道精神カラ御覽ニナツテ、物ヲ云フ考ヲ持ツテ居リマシタガ、ソレハ寧ロスル風ニ御考ニナリマスカ、物ト時トニ關ドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、時ヲドウ実行ヤラレルト云フ御意見ノ程ヲ知ルコトガ出來マシタガ、ソレハサウ云フ形ノミデスル風ニ御考ニナリマスカ、物ト時トニ關ノデアリマス、ソレハ無論現在世界ヲ支配スルモノハ科學デ、其ノ科學、殊ニ自然科學ノ方面ガ發達致シマシテ、其ノ自然科學ハ具體的ニ物ヲ取扱ヒマス、ソシテ其ノ物ハ主ニ物理的、化學的、其ノ他色々ナ見方ガアリマスルガ、個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、分子トカ、原子トカ、電子トカ、サウ云ツタ個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、サウ云フ考ヘ方ガ又人ニ現ハレテハ個人主義ニナツテ、人間ガ一人々々個在シテ居ト云フ考ニナツテ參リマス、皇道主義カサウ云ツタ個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、サウ云フ考ニナツテ參リマス、皇道主義カラトドウ云フ風ニ御考ニナルカ、ヤハリサウ云フ分子、原子等ヲ取扱ヒマスルヤウナ個在的取扱ヒ方、唯其ノ量ト力トニ伴ツテノ取扱ヒ方ヲ御持チニナルノデアリマスカ、或ハ其ノ御主張ニナツテ居リマスル御考ノ中ニハ、物ノ取扱ヲドウ云フ風ニ變ヘテ見テ行クト云ヒマスカ、御考ニナツテ居ルカ、此ノ點ヲハツキリ致シマセヌト、

シイ批判ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、大正十一年以來、特ニ思想問題ガ紛糾致シマシテ、共產思想、赤化思想ハ國體ニ背ク、善クナイト云フ一般說ハ能ク出ルノデアリマスガ、ソレガ唯物科學主義ニナスル、又最モ重大ナ力ヲ持ツテ居リマスルモノハ科學デ、其ノ科學、殊ニ自然科學ノ方面ガ發達致シマシテ、其ノ自然科學ハ具體的ニ物ヲ取扱ヒマス、ソシテ其ノ物ハ主ニ物理的、化學的、其ノ他色々ナ見方ガアリマスルガ、個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、分子トカ、原子トカ、電子トカ、サウ云ツタ個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、サウ云フ考ヘ方ガ又人ニ現ハレテハ個人主義ニナツテ、人間ガ一人々々個在シテ居ト云フ考ニナツテ參リマス、皇道主義カサウ云ツタ個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、サウ云ツタ個在的ノ見方ヲ致シテ居リマス、サウ云フ考ニナツテ參リマス、皇道主義カラトドウ云フ風ニ御考ニナルカ、ヤハリサウ云フ分子、原子等ヲ取扱ヒマスルヤウナ個在的取扱ヒ方、唯其ノ量ト力トニ伴ツテノ取扱ヒ方ヲ御持チニナルノデアリマスカ、或ハ其ノ御主張ニナツテ居リマスル御考ノ中ニハ、物ノ取扱ヲドウ云フ風ニ變ヘテ見テ行クト云ヒマスカ、御考ニナツテ居ルカ、此ノ點ヲハツキリ致シマセヌト、

思想ガ善イトカ惡イトカ言ヒマシテモ、正

マスル點デアリマスガ、サウ云フ立場カ

ラ致シマシテ、大臣ハ其ノ皇道主義ノ上カラ見ラレテ居リマスル物ヲドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ルカト云フコトヲ承リタインデアリマス、同様ノ意味ニ於テ時デアリマスルガ、時ガ唯縱ニ連續シテ居ル一つノ距リヲ考ハテ居ルダケノモノデアルカ、或ハ時ヲ皇道主義ノ立場カラ内面的ニ特別ニ御觀察ニナツテ居リマス點ガアルカ、ソレヲ御伺シタイノデアリマスガ、ソレハ單ニ時ガ時間ノ距離ヲ重ねテ行キマスルヤウニ、百年デモ千年デモ唯時間ト云フモノヲ積ミ重ねテ居ルト云フダケノ考デ皇道主義、其ノ根本ハ實ニ悠久ノ古ニ發シマスル古イモノデアルト云フコトニ付テハ問題ハ持チマセヌガ、其ノ古イモノガ固定シテ居ルト云フコトヲ屢々承ルノデアリマス、議會ニ於テ仰セニナリマシタコトヲ一々此處ニ列舉スル言葉デ御説明ニナリマシタコトハ、文部大臣ニアリマシテモ、又總理大臣ニアツテモ數回承ツタノデアリマス、サウスルト幾千年カ幾万年カ、其ノ悠久ナ古ニ唯固定シタモノデ、ソレガ時ノ流レヲ通ジマシテ、唯一貫シテ貫イテ居ルト云フコトダケノコトハ、何カ皇道主義ノ目指ス所ノモノガ、一ツ現ハレタト云フヤウナ考ヘ方ニ聞エル點ガ澤ツテ居リマスル點ハドウ云フ點デアルカ、デアリマスガ、此ノ皇道主義カラ見ル時ト云フモノハ、ソレガ唯外部的ニ時間ノ繋リ

デナクシテ、内部的ニ生命ノ流レデアル、即チ命デアル、段々生キテ育ツテ行クモノニナサルモノデアルカ、ドウモ固定シテ居ルト云フコトヲ專ラ仰セニナリマスル所デハ、物ノ考ヘ方ヲ主ニナサレテ居ツテ、幾万年カノ前ニ決ツタモノガ現ハレテ、其ノモノガ續イテ今日モアルト云フダケノ御意見ノヤウニ承ル場合ガ多イノデアリマシテ、サウ云フ風ニナリマスト、所謂偏狭固陋ト云フ問題ガ起ツテ來ル點ガ澤山アルノデアリマス、此ノ皇道主義ガ極メテ尊イモノデアリ、日本ノ命デアリマスト同時ニ、世界ノ指導精神デナケレバナラスト信ジマスルガ、其ノ大ナル力ニナリマスルニハ、常ニ世界一切ノ長所ヲ採入レテ、而モ能ク世界ニ伸ビテ行クコトノ出來ル生々潑刺タルモノデナケレバナラスト存ジマス、ドウモノニ定ツテ居ルト云フコトヲ主張サレル點ハ、何カ皇道主義ノ目指ス所ノモノガ、一ツ現ハレタト云フヤウナ考ヘ方ニ聞エル點ガ澤ツテ居リマスル點ハドウ云フ點デアルカ、カ澤ツテ居リマスル點ハドウ云フ點デアルカ、其ノ次カラ次へ年代的ニ現ハレテ來タト云フダケデハナイ、又西洋史家ガ言ヒマスヤウニ、ケデハナリ、又西洋史家ガ言ヒマスヤウニ、ノ連鎖ヲ以テ理窟附ケテ繫ゲテ居ルト云フダケデハナイ、サウ云フ理窟ヤ甲乙ノ事實ノ繫ガリノ外ニ、全體的ニ一ツノ大キナ命トナリ、流レトナツテ居リマスル所ニ、此ノ皇道ノ偉大ナル所以ガ存スルノダト思ウテ居リマス、隨テ又西洋ノ多少進ンダ者ガ、シマシテ尊ビマスル所カラ、色々ノ史觀ヲ立テテ居ルコトハ御承知ノ通リデアリマスルガ、要スルニ彼等ハ史觀デ、歴史的ニ考ヘテ見テ居ルト云フ考デアリマス、ソレダスルコトガ出來ルノデアリマスルガ、日本カラ唯物的ニ考ヘタリ、唯心的ニ考ヘタリスルコトガ出來ルノデアリマスガ、日本ハ史觀デナリ、實ニ一貫セル歴史其ノモノデアツテ、生命其ノモノデアルト云フコトガ尊イノダト思フノデアリマスルガ、サウ

テ、呱々ノ聲ヲ揚ゲタ赤ン坊ガ刻々ニ育ツテ參リマスルヤウニ、皇道ノ偉大ナル力ハニナル點ガ私ハ日本ノ特色デアルト考ヘルニナツルモノノデアル、斯ウ云フコト刻々ニ育ツテ居ルノデアル、斯ウ云フコトニアルノデアリマス、即チ歴史ヲ通シマシテ常ニニ瓦ルノデアリマス、單的ニ皇道ヨリ見タル物ト時、斯ウ云フヤウナ御尋デアリマスルガ、私一寸瞬ニ落チマセヌノハ、時ニ關シテ固定シタト云フコトノ御話デアリマシタガ、ドウ云フ點ヲ御指シニナツタノカ、其ノ次カラ次へ現ハレテ居ルモノヲ唯因果次カラ次へ年代的ニ現ハレテ來タト云フダケデハナリ、又西洋史家ガ言ヒマスヤウニ、シテ固定シタト云フコトノ御話デアリマシタガ、ドウ云フ點ヲ御指シニナツタノカ、其ノ次カラ次へ現ハレテ居ルモノヲ唯因果ノ連鎖ヲ以テ理窟附ケテ繫ゲテ居ルト云フダケデハナリ、サウ云フ理窟ヤ甲乙ノ事實ノ繫ガリノ外ニ、全體的ニ一ツノ大キナ命トナリ、流レトナツテ居リマスル所ニ、此ノ皇道ノ偉大ナル所以ガ存スルノダト思ウトシテ見マシテ、其ノ中ニ一ツノ主義精神ガ存續シテ居ルト云フ風ニ見ルコトガ出来ルト思ヒマス、サウ云フ風ニ見マスル人カラ言ヒマスト、一番初メニ定マツタモノガアレバ、其ノ定マツタモノヲ唯標準ニシテ行クト云フコトニナルノデアリマスガ、私サウ云フ意味デ日本ノ悠久ナル古ニ肇國ノ大義トシテ現ハレマシタ點ガスクノデアル、殊ニ天祖ノ三大詔勅デアル、又神武紀元ニ現ハレル所ノ聖旨デアルト云フヤウニ、一ツヲ採ツテ見マスレバ、固定シクト云フコトガ言ヘルト思フノデアリマスルガ、其ノ固定シタト云フコトヲ考トシテ持ツテ若シサウ云フ風ニ固定シタモノデハナクシ

云フ點ニ於キマシテ、先づ皇道カラ御覽ニナツテ居リマスル物及ビ時ニ關スル御考ヲ承リタイノデアリマス
○荒木國務大臣 問題ハ非常ナ深遠ナ問題ニ瓦ルノデアリマス、單的ニ皇道ヨリ見タル物ト時、斯ウ云フヤウナ御尋デアリマスルガ、私一寸瞬ニ落チマセヌノハ、時ニ關シテ固定シタト云フコトノ御話デアリマシタガ、ドウ云フ點ヲ御指シニナツタノカ、其ノ次カラ次へ現ハレテ居ルモノヲ唯因果ノ連鎖ヲ以テ理窟附ケテ繫ゲテ居ルト云フダケデハナリ、又西洋史家ガ言ヒマスヤウニ、シテ固定シタト云フコトノ御話デアリマシタガ、ドウ云フ點ヲ御指シニナツタノカ、其ノ次カラ次へ現ハレテ居ルモノヲ唯因果ノ連鎖ヲ以テ理窟附ケテ繫ゲテ居ルト云フダケデハナリ、サウ云フ理窟ヤ甲乙ノ事實ノ繫ガリノ外ニ、全體的ニ一ツノ大キナ命トナリ、流レトナツテ居リマスル所ニ、此ノ皇道ノ偉大ナル所以ガ存スルノダト思ウトシテ見マシテ、其ノ中ニ一ツノ主義精神ガ存續シテ居ルト云フ風ニ見ルコトガ出来ルト思ヒマス、サウ云フ風ニ見マスル人カラ言ヒマスト、一番初メニ定マツタモノガアレバ、其ノ定マツタモノヲ唯標準ニシテ行クト云フコトニナルノデアリマスガ、私サウ云フ意味デ日本ノ悠久ナル古ニ肇國の大義トシテ現ハレマシタ點ガスクノデアル、殊ニ天祖ノ三大詔勅デアル、又神武紀元ニ現ハレル所ノ聖旨デアルト云フヤウニ、一ツヲ採ツテ見マスレバ、固定シクト云フコトガ言ヘルト思フノデアリマスルガ、其ノ固定シタト云フコトヲ考トシテ持ツテ行キマスト、一ツノ決ツタモノダケヲ、何ガ尊イノダト思フノデアリマスルガ、サウ

時モ唯決ツテ居ルト云フコトデ、ソレガ常ニ發達スル、擴大スル、生活スル其ノ相ヲ輕ンズルコトニナルノデアリマスカラ、國體ノ本義ト云フモノハ、肇國ノ根本カラハツキリ現ハレテ居ルト云フコトハ、ソレハ固定ト云フコトガ言ヘルカモ知レヌト思フノデアリマス、併シ固定ト云フコトノ考ヘ方ヲ強メテ參リマスト、他ノモノハ外ノ方カラクツ付イタモノデアル、混リ物ダト云フ考ニナリマスガ、此ノ初々ニ現ハレマシタモノガ常ニ活キテ進ンデ來ルモノデアルト云フト、固定ト云フ言ヒ方デハ考ヘ方ガ十分ニ出テ來ナイ、固定ト云フ方デ強メテ行キマスト、一切ノ進歩發達ト云フヤウナコトガ十分ニ呑込メナイコトニナリマス、他ノ思想ヤ文物ガ唯混リ物デアルト云フ風ニナリマス、赤ン坊ハ赤ン坊デ完全ニ生キテ居リマスカラ、悠久ノ古ニ現ハレマシタル三大詔勅ヲ以テ示サレル所ノ御示シハ御武ノ御代ニハ神武ノ御代ノヤウニ、又一層充實サレタ形デ現ハレテ參リマス、教育勅語ガ其ノ御精神ヲ十分ニ現ハシタ云フコ

トニ言ヘバ、又確ニサウデアリマシテ、同ノ歴史ニハ十分ニ現ハレテ居ラナイ強味トス所ノ發達ガアツタモノデアル、固定シテ居ルト言フト、發達ヲ輕ク視ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、發達ヲ輕ク視マスト、日本ノ歴史的進展ガ非常ニ輕クナル、神代ノ古ヲ仰イデ標準トスル、實ニ偉大ナルコトデアル所ニ日本ノ長所ガアルコトハ明瞭デアリマスルガ、同時ニソレガ各時代ヲ通ジテ、多少ノ消長ハアリマスルケレドモ、大キク見マスレバ、一貫セル大生命デアツテ、各時代ヲ通ジテ發達シテ來タト云フコトニ尊サガアルノダト思フノデアリマス、殊ニ直接ノ問題ニナリマスルコトハ教育勅語ガ私共ノ絶對ノ指針デアリ標準デアリ得マスルト同時ニ、此ノ勅語ノ大精神ハ、次々ニ現ハレテ參リマスル陛下ノ各種ノ御詔勅ヲ通ジマシテ、常ニ新シク充實ナリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガレ、發達シツツアルコトダト解スルノデアリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガ云フ點デサウ云フ風ニ御考下サツカ分リマセヌガ、此ノ點ニ付キマシテハモウ茲ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソコデドウ申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、我國ソ皇道ト申サルルコトハ、所謂皇室ノ歴史ニ明デアリマスル如ク、一貫シマシト存ジマス、肇國ノ昔ニ邇リマシテ、我國ノ御代ニハ神武ノ御代ノヤウニ、又一層充實サレタ形デ現ハレテ參リマス、教育勅語ガ其ノ御精神ヲ十分ニ現ハシタ云フコ

トニ言ヘバ、又確ニサウデアリマシテ、同ノ歴史ニハ十分ニ現ハレテ居ラナイ強味トス所ノ發達ガアツタモノデアル、固定シテ居ルミヲ加ヘテ行キ、即チ世々其ノ美ヲ濟ス所ノ發達ガアツタモノデアル、固定シテ居ルト言フト、發達ヲ輕ク視ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、發達ヲ輕ク視マスト、日本ノ歴史的進展ガ非常ニ輕クナル、神代ノ古ヲ仰イデ標準トスル、實ニ偉大ナルコトデアル所ニ日本ノ長所ガアルコトハ明瞭デアリマスルガ、同時ニソレガ各時代ヲ通ジテ、多少ノ消長ハアリマスルケレドモ、大キク見マスレバ、一貫セル大生命デアツテ、各時代ヲ通ジテ發達シテ來タト云フコトニ尊サガアルノダト思フノデアリマス、殊ニ直接ノ問題ニナリマスルコトハ教育勅語ガ私共ノ絶對ノ指針デアリ標準デアリ得マスルト同時ニ、此ノ勅語ノ大精神ハ、次々ニ現ハレテ參リマスル陛下ノ各種ノ御詔勅ヲ通ジマシテ、常ニ新シク充實ナリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガレ、發達シツツアルコトダト解スルノデアリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガ云フ點デサウ云フ風ニ御考下サツカ分リマセヌガ、此ノ點ニ付キマシテハモウ茲ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソコデドウ申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、我國ソ皇道ト申サルルコトハ、所謂皇室ノ歴史ニ明デアリマスル如ク、一貫シマシト存ジマス、肇國ノ昔ニ邇リマシテ、我國ノ御代ニハ神武ノ御代ノヤウニ、又一層充實サレタ形デ現ハレテ參リマス、教育勅語ガ其ノ御精神ヲ十分ニ現ハシタ云フコ

トニ言ヘバ、又確ニサウデアリマシテ、同ノ歴史ニハ十分ニ現ハレテ居ラナイ強味トス所ノ發達ガアツタモノデアル、固定シテ居ルミヲ加ヘテ行キ、即チ世々其ノ美ヲ濟ス所ノ發達ガアツタモノデアル、固定シテ居ルト言フト、發達ヲ輕ク視ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、發達ヲ輕ク視マスト、日本ノ歴史的進展ガ非常ニ輕クナル、神代ノ古ヲ仰イデ標準トスル、實ニ偉大ナルコトデアル所ニ日本ノ長所ガアルコトハ明瞭デアリマスルガ、同時ニソレガ各時代ヲ通ジテ、多少ノ消長ハアリマスルケレドモ、大キク見マスレバ、一貫セル大生命デアツテ、各時代ヲ通ジテ發達シテ來タト云フコトニ尊サガアルノダト思フノデアリマス、殊ニ直接ノ問題ニナリマスルコトハ教育勅語ガ私共ノ絶對ノ指針デアリ標準デアリ得マスルト同時ニ、此ノ勅語ノ大精神ハ、次々ニ現ハレテ參リマスル陛下ノ各種ノ御詔勅ヲ通ジマシテ、常ニ新シク充實ナリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガレ、發達シツツアルコトダト解スルノデアリマシテ、サウ云フ風ニ拜シテ行クコトガ云フ點デサウ云フ風ニ御考下サツカ分リマセヌガ、此ノ點ニ付キマシテハモウ茲ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソコデドウ申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、我國ソ皇道ト申サルルコトハ、所謂皇室ノ歴史ニ明デアリマスル如ク、一貫シマシト存ジマス、肇國ノ昔ニ邇リマシテ、我國ノ御代ニハ神武ノ御代ノヤウニ、又一層充實サレタ形デ現ハレテ參リマス、教育勅語ガ其ノ御精神ヲ十分ニ現ハシタ云フコトデ申シタノデアリマス、サウ云フ

ヲ廸ツテ肇國ノ昔ニ復レバ、其ノ淵源ハ非
常ニ明デアル、即チ教育勅語ニ之ヲ要約シ
テ尊ク御示シニナツテ居ルノデアリマシテ、
今上陛下ノ昭和ノ御代ノ初ニ御示シニナ
ツタ中ニモ、此ノ點ヲ明ニ御示シニナツテ
居ルノデアリマス、此ノ昭和ノ御代ニ拜
シマシタ勅語ノ中ニ、「列聖相承ケテ仁恕ノ
化下ニ治ク」ト仰セラレマシタ、「列聖相承ケ
テ仁恕ノ化」ト云フ所ガ、皇道ノ御本源ヲ能
ク御示シ下サツタモノト私ハ拜スルノデア
リマス、之ニ依ツテ仁恕ノ化下ニ治クアラ
セラレルコトガ、言葉ハ色々ニ變リマスケ
レドモ、先般來屢、議場デ總理モ御話ニナリ
マスルシ、私共モ斯ク拜シテ居リマスガ、
ルト云フ明治維新ノ皇謨モ、ヤハリ遠ク古ノ
肇國ノ御精神ヲ文字ニ依ツテ御示シニナツ
タノデアル、斯ウ拜スルノデアリマス、故
ニ仁恕ノ化下ニ治クアラセラレザル時ニヘ
御皇室ハ絶エズ其ノ姿ヲ御覽遊バサレテ宸
襟ヲ惱マセラレル、ソレハ各々ガ處ヲ得ズ、
志ヲ遂ガナイ、仁恕ノ化下ニ治クアラセラ
レナイト云フ所ニ、一切ガ源ヲ發シテ居ル
コトト私ハ拜スルノデアリマス、斯様ニ拜
シマスル時ニ、物、時ニ對シマスル物ノ見
方ハ、悉クガ自己ノ爲ニ出發スルニアラズ

シテ、天地宇宙ノ總テノ物ガ各、一つノ生命ヲ持ツテ、互ニ相倚リ相扶ケテ、宇宙ノ此トヲ深ク考ヘテヤラナケレバ、其ノ物ガ處ヲ得ナイノデアル、物ハ唯一個ノ物ニアラズシテ、ソレニハソレノ生命ガアルモノト考ヘラレマス、故ニ仁恕ノ化下ニ治クアラセラレル大御心ヲ體シマスル時ニ、曾テ私共非常ナ感激ヲ持チマスコトハ、或ル聖者ガ——名前ヲ申上ゲルマデモナイコトデ、御承知ノコトト存ジマスルガ、自分ノ生命ヲ繋グベキ一ツノ焰烙ヲ終始使ハレテ、ソレガ破ルルニ從ツテ之ヲ繼ギ、之ヲ合セテ、最後マデ使ハレテ、遂ニ役ニ立タナクナツタ時ニ、永年ノ間御苦勞デゴザイマシタ一言之ニ御禮ヲ述べテ、懇ロニ土ニ還シタ、此ノ氣持ガ私ハ皇道ノ一ツノ御示シノ現レト存ズルモノハ最後マデ使ツテ、遂ニ役ニ立タナクテ参リマス時ニ、一焰烙ニシテ而モ使ヘルモノアリマス、斯ノ如ク吾々ガ皇道ヲ體シテ参リマス時ニ、一焰烙ニシテ而モ使ヘルモノハ最後マデ使ツテ、遂ニ役ニ立タナクテ参リマス時ニ、一焰烙ニシテ而モ使ヘルモノアリマス、斯様ニ考ヘ此ノ思想コソ、吾々ノ皇道ヲ體シテ行クベキ途ダト考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘマシテ物ノ見方ヲシテ参リマス時ニ、自己ノ存在ガ自己ノ存在ニアラズシテ、吾々ハ

宇宙ノ總テノモノニ對スル自己ノ存在デナ
ケレバナラヌ、而シテ是ガ皇道ニ於テ有難
イコトニハ、宇宙總テニ對スル所ノ御示シ
ヲ、我國ノ歴史ニ於テ、國ノ創マリニ於テ御
ニ皇道ヲ踐ミ行フ所ニ於テ、一切ノ眞理
示シニナツタ、茲ニ我國ノ皇道ガアル、故
ニ天地ノ公道モ、宇宙ノ眞理モ、一切ノ
哲學モ、一切ノ宗教モ、一切ノ道德モ、茲ニ
歸一スルノデハナイカ、祭政一致ト云フヤ
ウナ言葉ノ用ヒラレマスコトモ、決シテ是
ガ一ツノ空想デモナク、一ツノ唯言葉ノ上
ノ問題トハ私ハ見ナイノデアリマス、其ノ
精神ガ茲ニ貫徹致シマシテ、初メテ政治ノ
上ニ、道德ノ上ニ、社會ノ上ニ、國際關係
ノ上ニ、將亦更ニ進ンデ天地宇宙ノ總テヲ
流レテ行ツテ、何等悔ユル所ナク自分ノ任務
ヲ終リ得ルノデハアルマイカ、時ノ問題ニ
付キマシテモ同一デアリマシテ、淵源ガ斯
ノ如ク洵ニ尊イ源カラ出發シテ參リマシテ、
ソレガ流レテ河トナリ、海トナリ、或ハ湖
水トナルト云フコトデ、其ノ時代ノ動キニ
ゲジテドウニデモ行クコトデアル、併シナ
ガラソレニ依ツテ決シテ淵源ト云フモノニ
狂ヒハナイノデアル、其ノ淵源ガ清クシテ
滾々トシテ盡キズシテ湖水ニモ河ニモ海ニ
モ流レテ行クノデハナイカ、其ノ淵源ヲド

ウシテモ忘レテハナラヌ、其ノ清キ源ヲシカリ仰イデ、而シテソレカラ低キニ就キ、廣キニ行キ、下ニ流レテ行ク所ニ時代ノ變化ガアル、列聖ノ相承ケテ仁恕ノ化下ニ洽シ、或ハ德ヲ樹ツルコト深厚ナリト仰セラレテ居ルコトモ、其ノ淵源ニ基イテ、其ノ時代々々ニ應ジテ絶エズ是ガ流レ動イテ來タコトト存ジマス、故ニ總テノ物ニ對シテ我國ニ於テハ、固陋デナク、又排他的デナク、能ク之ヲ消化シテ其ノ眞髓ヲ捉ヘテ、時ニハ可ナリ激スル場合モアリマスケレドモ、永イ歴史ヲ考ヘマスト、又個々ノ生活ヲ考ヘテ參リマスト、其ノ點ニ付テハ非常ナ包容力ガアリ、總テノモノヲ規則ト云フ硬イモノノ間ニ入ラズシテ自ラ制シテ行キ自ラ動イテ行クト云フ所ノ此ノ日本人ノ尊イ個性ハ、此ノ尊イ教ガアレバコソトスウ考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘマシテ、今日ノ時局ニ際シテ此ノ考ガ國民ノ間ニ徹底ヲシ、茲ニ吾々ガ努力ヲ致シマスナラバ、如何ナル利害ノ問題モ、如何ナルデアルトカ、或ハ感傷的ニ走リマンシタ排他的ノ事ハ起ルベキデナイニモ拘ラズ、ソレガ起リマスコトハ、此ノ問題ガ理想トシテハアリマシテモ、政治ノ上ニ於テモ、道徳

ノ上ニ於テモ、軍事ノ上ニ於テモ、社會ノ上ニ於テモ、總テノ上ニ是ガ徹底セザルコトガ、茲ニ多クノ問題ヲ惹起スノデハアルマニカ、故ニ相剋摩擦ガ起リマシテモ、此ノ淵源ヲ考ヘマスナラバ、是ハ滑カニ解消スルノデハアルマイカ、相剋摩擦結構デアル、ソレガナケレバ進歩ガナイト存ジマス、併シナガラ其ノ相剋摩擦ガ、所謂同シテ和ゼズニアラズ、和シテ同ゼズト云フヤウナコトデ行キマシタナラバ、此ノ總テノ問題ガ、如何ニ議論ヲ闘ハシ、如何ニ相剋ガアリマシテモ、其ノ源ニ歸スルノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘマシテ、皇道ヲ仰イデ吾々ガ一切ノ動キヲ爲スコトガ、時局ニ處スル上ニ於テモ、處世ノ上ニ於テモ必要デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ、廣キ、豊カナ、朗カナ、一切ヲ能ク達觀シタ氣分ニ國民ノ教養ヲ持ツテ行キタイ、之ニ總テノ知識ヲ植エテ、是方更ニ能ク活動スルヤウニシテ行クコトガ教育ノ基デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○椎尾委員 煩ハシイ説明ヲハツキリト願ヒマシテ恐縮ニ存ジマスルガ、御説明ニ依リマシテ物ニ對スル御考ハ、所謂單ナル唯物個在ノ、分子ナリ、サウ云ツタ物ノ集ツタ品物ナリト云フ考ヘ方デナク、其ノ物ノ

勵キヲ尊重シ感謝シ、敬虔ナル態度ヲ以テ見
テ行クノダト云フ御示シデアツタ存ジマ
ス、サウ云フ考ヘ方ガ一ツノ大事ナ點デア
レドモ、從來ノ泰西科學ヲ標準トシテ居リ
ルト存ジマスガ、ソレガ總デノ人、總テノ
學ガサウナツテ居ルトハ無論申シマセヌケ
本當ニ感謝尊敬措ク能ハザルモノヲ見ルコ
マス理學的、自然科學的ノ研究ハ、ソコニ
トニ努メズシテ、サウ云フコトノナイ、唯
分子デアリ、「エネルギー」デアルト云フヤ
ウナ扱ヒラシテ居ルノデアリマス、申上ゲ
ルマデモナク。御承知ノ「プラトニズム」ハ學
問ノ死デアル、物ガ活キ、物ガ尊イト云フコ
トヲ考ヘルノハ科學ガ死ヌノデアル、斯ウ
云フ考ガ基礎ニアツテ出テ參リマスル考ヘ
方トハ確ニ違フト思フノデアリマス、ソコ
デ總テノ自然科學的ノ行キ方ニ付テ、上ハ
大學ノ研究室ニ於テヤリマス研究デモ、又
下ハ小學ノ初步ニ於テ授ケマス博物デモ、
テ行クト云フコトガ皇道ヲ體スルト云フコ
トデアル、サウ云フ點ヲ明ニセネバナラ、又
ト思フゾデアリマスガ、其ノ點ガ一般ノ教
育ニ缺ケテ居リ、殊ニソレハ大學ノ研究ニ
缺ケテ居ルノダ、斯ウ私共ハ存ジテ居リマ

ス、無論一通り西洋ノ科學ヲ學ビ、其ノ研究方法ヲ用ヒテ行クト云フコトモ必要デアリマスケレドモ、日本ノ皇道ヲ體シ、此ノ物ノ扱ヒ方ヲ中心ニシタ理學、化學ノ研究ヲ發達サセルト云フコトガ必要デアル、サウ云フ立場カラ私ハ機會アル毎ニ之ヲ繰返スノデアリマスガ、ソレハ如何ニ繰返シマシテモ及バナインデアリマシテ、ドウシテモ自然科學者ガ其ノ點ヲハツキリト體得シテ、實現シテ下サルト云フコトガ、皇道ヲ明ニシ、教育ヲ充實シテ行ク、根本ニナルト思ヒマスカラ、ソレデ物ニ對スル御考ヲ伺ツタノデアリマスガ、物ヲ唯ノ品物ト見テ居ル行キ方ヨリモ、其ノ中ニ非常ニ尊イ、有難イ命ノ泉ガアルト云フコトヲ御覽ニナルト云フ立場カラハ、教育ノ上ニ、學科ノ上ニ、研究ノ上ニ著シイ改革ヲ要スルモノデアルト思ワノデアリマスガ、免ニ角物ニ對シテノサウ云フ御考ヲ伺ツタコトヲ感謝致シマス、又時ニ付キマシテモ固定シタト云フ言葉ガアツタ、無カツタト云フコトハヨリマスガ、其ノハツキリト現ハレタコト方ノ初ニ顯ヘレタ、ソレハ實ニ尊イコトデアリマスガ、其ノハツキリト現ハレタコト方ノ美ヲ濟シ來ツタコトデアル、ソコデ此ノ

皇道ノ本當ノ有難サ、私共ガ體シマスル只
今ノ 陛下ノ大御心、御力ニ一身ヲ捧ゲテ
感孚致シマスルコトガ、即チ悠久ナガル古
ニ生キル所以デアツテ、決マツテ居ル、
居ラヌト云フ對象トシテ眺メテ居ル概念上
ノコトデナクシテ、今 陛下ノ御心、
陛下ノ詔ニ眞ニ身命ヲ捧ゲテ進ンデ參リマ
スル所ニ、皇道ヲ體シ、皇道ヲ諒スル所以ガ
アルモノダト信ズルノデアリマス、サウ云
フ意味デ發達スルトカ、固定スルトカ言ヒ
マシテハ、マダ餘所事ニ扱ツテ居リマスガ、
其ノ皇道ハ悠久ノ古デアリマスケレドモ、
今ノ 陛下ノ御心デアリ、御示デアリ、御
徳デアツテ、其ノ御力ガ皇道ノ中心デアル、
ガ大事ダト存ジマス、固定シテ居ナイ——
固定ト云フコトデハナイガ儼然トシテ決ツ
テ居ツテ常ニ發達スルト云フ仰セニ於テ、大體
同様ノ考ヘ方デ、之ヲ私ハ左様ニ考ヘル、サウ
云フ氣持デ御意見モ亦——細カイ言葉ノ先
ヲ言フノデアリマセヌ、根本ニ於テ類シ、同
ジヤウナ方面ニアルト思ヒマス、若シコレガ違
ツテ居ル、數千年ノ古ハ古デ、今ハ今ダ、一貫
レテ居ルト云フコトハ違ツテ、別ニ存スル

Digitized by srujanika@gmail.com

ト云フコトデアルナラバ、更ニ其ノ御答ノ際ニ一言ソレヲ御示ヲ戴キタイ、サウデナイト云フコトデアレバ、其ノ點ハ御説明ヲ要シマセヌ

次ニ御伺致シマスコトハ、天祖、皇祖皇宗ヲ奉ジテ參リマスコトガ、祖先崇敬ノ道ト相一致シマシテ、即チ敬神ト崇祖ガ一ツニナツテ、日本ノ特色ヲ成シテ居ルモノダト存ズルノデアリマスガ、此ノ祖先ヲ崇敬スルト云フコトガ、是レ亦申上ゲルマデモナク、祖先ヲ崇敬スルガ爲ニ革命ガ起ル、或ハ退化スル、故ニ祖先崇拜ハ止メタ方ガ宜イ、此ノ三ツノ問題ガ世界的ニ起ツテ、印度ヤ支那ハ祖先崇敬ヲシテ、尙古保守、行詰ツテ居ルカラ屢々革命ニ依ツテ出直シシナケレバナラナイ、又南洋其ノ他ニ退キマシタ連中ノ祖先崇拜ヲシテ居ル者ハ、遂ニ進歩ガナイカラ退化シテシマツタ、歐米ノ思想ト云フヤウナコトガ、歐米思想ヲ謳歌スル者ニ誤マラレタコトガ多々アルノデアリマス、此ノ祖先ヲ敬フ——古ヲ尙ブコトデアリマスガ、而モ日本ノ祖先ヲ敬フト云フコトハ、唯角古保守ノ思想トドウ云フ風ニ違

フノデアルカ、此ノ點ニ付テ御示ヲ賜リマスト、國民ノ動キニ餘程明瞭ナルモノガ出テ來ルト思フノデアリマス、祖先崇拜トハ言フ、崇敬ハシテ居リマスケレドモ、其ノ間ニハ尙古保守ノ一片ニ流レテ外ノ國ニ害ヲ成シタヤウナモノモアルノデアリマス、此ノ皇道ニ基ク祖先崇拜ト云フモノハ、單ニ古ヲ尙シテ居ルコトデハナイ、其ノ昔ヲ尙ブ方面ハ御説明ヲ俟チマセヌガ、ソレト達フ日本ノ祖先崇拜ト云フコトガドウ云フコトデアルカ、モウ一ツ伺ヒマスコトハ、我國ハ天佑ヲ有スル國ニアル、軍ノ勝利ヲ得マスルニモ、御稟威ニ依リ、天佑ニ依ルト云フコトガ屢々繰返サレルコトデアリマスルガ、此ノ天佑ガ何デアルカト云フコトガ教育ニハ此ノ天佑ヲ用ヒナイノガ多イノデアリマス、ト云ツテ、一方ニハ陛下ハ天佑ヲ保全シ給ヒ、日露戰役カラ特ニ屢々用ヒラレマスヤウニ、天佑我ニ在リト云フコトデアリマスガ、其ノ天佑ト云フコトハ、教育ニ説明出來ナイヤウナ唯神祕ナル事柄デアルカ、或ハ天佑我ニ在リト云フコトハ、正シイ考ヘ方デアルトスルナラバ、ソレハドウ云フ風ニ心得タノガ天佑トシテ用ヒラ

ルベキモノデアルカ、之ヲ皇道ノ精神カラドウ云フ風ニ御扱ニナルベキカ、祖先ヲ崇敬スルト云フ考ヘ方、天佑、此ノニツニ付テ御説明ヲ承リタイト存ジマス

○野村委員長 椎尾君、マダアト引續イテ御尋ガアルノデセウカラ、今日ハ今ノ點ニ付テノ答辯ダケデ終リタイト思ヒマスガ、如何デセウカ

○椎尾委員 或ハ御答辯ハ明日デモ構ヒマセヌ

○野村委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日引續キ質問應答ヲ續ケテ戴クコトニ致シタイト思ヒマス、明日ハ午後一時半カラ開會致シマス

午後五時四十分散會